

夢のあるまちづくりを市民の皆さまと

議会だより

声のかけ橋

第85号

令和6年5月1日発行
豊後大野市議会

12人の議員が市政を問う 9

市民と議会の意見交換会、執行部の回答は 20

キラリ★一言 24



令和6年度の一般会計の総額は、修正動議が提出され、三重体育館を文化財収蔵庫に改修する工事設計委託料と手数料(計840万7千円)を減額した一般会計当初予算案(総額294億4159万3千円)を可決した。

施政方針にあるように、人口減少社会への対応、企業誘致に向けた取組、多機能型武道場の建設、清川、千歳の小中一貫校の開校など積極的な事業展開を図っている。また、物価高騰等に係る経済対策の取組、地方創生の推進を基本方針として予算を編成している。

「コロナ対策に伴う地方創生臨時交付金が終了し、「合併特例債」活用も最終年度となり、今後は財源の確保も重要な課題となってくるが、まずは、事業を着実に執行、行政サービスの安定的な提供、政策課題の解決に取り組んでいるか、議会として注視していく。

令和6年度予算

物価高騰対策・企業誘致・子育て拡充

修正動議提出により、当初予算は修正案が可決

総額 **294億4,159万3千円**
前年度対比 5.1%増

一般会計当初予算 歳出

		10万円単位四捨五入	比率	前年比
民生費	福祉などにつかうお金	88億 100万円	29.9%	6.9%
総務費	給与や全般的な管理事務に関する経費	45億 1,400万円	15.3%	22.8%
教育費	学校教育や生涯学習スポーツ振興など	44億 5,000万円	15.1%	15.5%
公債費	借りているお金の返済	29億 8,400万円	10.1%	0.3%
土木費	土木工事など	15億 8,300万円	5.4%	△30.6%
衛生費	市の衛生環境費用など	25億 6,200万円	8.7%	△2.8%
農林水産業費	農林業の進行のために	21億 9,200万円	7.4%	△2.1%
消防費	消防や防災のために	14億 4,600万円	4.9%	23.0%
商工費	商工業振興や観光振興	4億 3,600万円	1.5%	24.3%
議会費	議会活動の経費	1億 8,900万円	0.6%	3.3%
その他	災害復旧費など	2億 8,500万円	1.1%	36.1%
歳出合計		*294億4,200万円	100%	5.1%

※10万円単位四捨五入しているため、歳出合計と総額が完全には一致していません。

一般会計当初予算 歳入

		10万円単位四捨五入	比率	前年比
①市税など	みなさまからの税金	32億 4,200万円	11.0%	△4.4%
	繰入金及び繰越金	19億 9,100万円	6.8%	19.3%
	財産収入及び諸収入	2億 4,300万円	0.8%	△0.8%
	使用料及び手数料	4億 3,000万円	1.5%	△1.4%
	分担金及び負担金	3億 2,600万円	1.1%	△18.5%
	寄附金	2億 4,100万円	0.8%	0.4%
②地方交付税	国からの配分(税金)	104億 6,700万円	35.6%	1.2%
③国庫支出金	国からの補助金など	31億 3,600万円	10.7%	△14.2%
④県支出金		24億 5,500万円	8.3%	△8.2%
⑤市債		53億 7,600万円	18.3%	50.2%
⑥その他	地方消費税交付金など	15億 3,500万円	5.1%	10.3%
歳入合計		294億4,200万円	100%	5.1%



- ①: 自主財源(豊後大野市自前のお金) 64億7,300万円
- ②~⑥: 依存財源(国や県からのお金) 229億6,800万円

特別会計当初予算

	10万円単位四捨五入	前年比
国民健康保険特別会計	46億 2,400万円	△7.0%
後期高齢者医療特別会計	8億 900万円	15.5%
介護保険特別会計	66億 500万円	△0.7%
農業集落排水特別事業	—	皆減(下水道特別会計へ移行)
浄化槽施設特別会計	3,100万円	△10.8%

◆修正動議について

教育委員会は、多機能型武道場が三重町大原に建設されることに伴い、現在の三重体育館の利活用として文化財の収蔵庫に改修することとし、今回工事設計委託料(800万円)を当初予算に上程していた。

しかし、議案質疑で5名、予算委員会で3名からの質問により、問題と感ずる議員が相次ぎました。具体的には、下記の4点が問題と取りざたされた。

- ①設計の後、改修工事請負契約になるが、建築費高騰で、改修工事費がいくらになるかわからない。
- ②文化財収蔵物の量、そして質を含め本当にどのくらいの収蔵施設が必要なのかかわからない。
- ③三重体育館を改修することが最適なのか、場所も含め検討が必要。
- ④補助金などの財源もなく、起債も難しい状況で、R6、R7年に急いでやる事業ではない。ましてや、市民生活に支障があるわけではない。

以上の理由から、修正動議が11名より提出された。予算委員会では、設計工事請負費を減額した修正案で可決され、最終日には、予算委員会より提案された修正案を賛成14、反対3の賛成多数で可決した。

なお、議会としても積年の課題である文化財収蔵庫の必要性は十分理解しているが、詳細な説明がなされていない状況で、疑念を抱きながら事業執行を認めることはできなかった。

今後は、文化財の収蔵物に関して「基本計画」の策定などを行った上で、再度議論ができることを期待する。

基金残高

		前年比
一般会計基金残高	174億 700万円	△1.6%
財政調整基金	58億 2,600万円	5.9%
減債基金	20億 800万円	3.5%
特定目的基金	94億 7,300万円	△1.1%
定額運用基金	1億 円	△85.1%
特別会計基金合計	10億 8,300万円	2.2%

基金残高合計(貯金) = 184億9,000万円



前年度より2億5,900万円減

市債残高

		前年比
一般会計市債残高	252億 1,800万円	0.7%
農業集落排水	5億 1,800万円	△8.2%
浄化槽施設	2,600万円	△8.1%
上水道	28億 2,700万円	△4.2%
病院事業	20億 5,000万円	5.1%
公共下水道	1億 4,100万円	△13.8%

市債残高合計(借金) = 307億8,000万円



前年度より5億8,400万円増

※修正動議とは…議案の内容に対し、議員(委員)は必要に応じて議案の修正をすることができます。議案の修正を行う場合、その議案の目的の範囲内において、修正案を添えた「修正動議」を提出することとなります。

令和6年度の一般会計、特別会計の予算を審査する予算特別委員会が、3月13日から15日までの3日間で開催されました。
一般会計は、修正動議が提出され修正案が可決されました。(前ページ参照)特別会計は、すべて可決となりました。
ここでは、委員から出された質疑を要約しお知らせいたします。

徹底審査！ 予算特別委員会 新年度予算審査内容を紹介

豊後大野市民病院

議員 3億円の投資有価証券購入について。
答弁 国からの新型コロナウイルス空床確保の補助金により余剰現金が出たため、5年物国債、地方債の運用を考えた。5年物の運用を考えた。使用料金の改定を考える。

浄化槽施設特別会計

議員 緒方町の浄化槽個人譲渡の現状は。
答弁 R5年は、182基譲渡完了。譲渡完了424基。未契約189基(28%)。今後は企業会計を視野に入れ、使用料金の改定を考える。

市町村消防指令業務

議員 全県エリアでの消防指令業務の共同運用はいつから開始か。
答弁 本市の切り替えは7月16日、本格運用は10月1日からとなる。トラブルの無いよう準備対応していく。

婚活支援事業

議員 成果はでているのか。
答弁 イベント開催3回58名参加、カップル10組成立、婚姻に至っていない。サポートの育成とスキルアップに注力していく。
*本市婚姻数、R4年69組、R5年53組が現状。

配食サービス

議員 配食の事業費が前年比1割下がっているが。
答弁 物価高によりR4年から1食当たり40円上げているが、利用者が減少していることが要因。

きらきら子育て支援金事業

議員 未就学児に月5千円支給する事業に。
答弁 物価高による経済的な負担を軽減するため4月から9月までの6か月間、未就学児、約924名に月額5千円を支給する。
*なお、市内小中学校の児童生徒は、同期間の給食費が無償となる。

生活保護

議員 生活保護費が下がっている理由は。
答弁 生活保護の人口は、R2年5444名からR5年4722名と減少している。新規申請者より、高齢者の死亡者が多くなっていることが要因。

教育支援センター

議員 「がじが」の通所人数は。
答弁 登録は20名だが、現在は22名通所している。

大野町サイクリングHub

議員 今後の利活用は。
答弁 年々利用者が増加傾向。R5年2月末で2704人(足湯591人、休憩2616人、県内外からの視察88人)竹チップボイラーの実証実験などをPRしていく。

サイクリングパークおおの

地域公共交通活性化

議員 共創による新たな交通網の調査実証実験とは。
答弁 コミュニティバスを含めた公共交通利用者が年々減少していることから、公共交通網の再編を視野に入れ、予約型乗合交通の実証実験を行う。

朝倉文夫記念館

議員 入館者が増加させる方策は。
答弁 朝倉文夫の生誕140年の記念展覧会が県立美術館で開催され、評価が高まっていることを契機にPRをしていく。

地籍調査

議員 地籍調査事業の進捗状況は。
答弁 R5年現在51.47%。山間部を効率的に進める新手法を取り入れていくので、進捗の向上に努めるが、完了時期は未定。

サイクルツーリズム

議員 新規事業のサイクルツーリズムとは。
答弁 R5年と同様の事業だが、「スパークル大分」に委託し、サイクルツーリズムに特化して事業を推進していく。

サウナのまち

議員 サウナ関連コンテンツ、プロモーションについて。
答弁 サウナで本市に訪れた方を市内で周遊できるコンテンツを作成。パーフェクトガイドブックの修正や在フィナンランド大使館との交流を行う。

LAMP 豊後大野のトレーラーサウナ

市道駅前上赤嶺線

議員 JR三重町駅から市原に抜ける市道はどうか。
答弁 上赤嶺神社で道は止まっている。市原へ上がる道が都市計画街路なので、事業化に向け検討していく。

関係人口創出事業

議員 オンライン上での交流の場の創出はどうか。
答弁 現在162名が登録。「空き家バンク」や「ボラホリぶんごおの」で関係が構築されている。
議員 キャラクターグッズ作成とは何を作るか。
答弁 「なばつぽん」「なびるびー」のぬいぐるみとアクリルキーホルダーを製作予定。

アクリルキーホルダー

ふるさと納税

議員 予算目標2億4千万円をどうやって実現するのか。(R4年寄附受入額1億8千万円)
答弁 ふるさと納税額を多く集めている自治体の取組と、本市の状況を比較した結果、寄附者が繰り返し寄附をしていただける(リピート)商品や、全国的に本市の顔となる商品がないことなどが挙げられる。
新年度は商品数を増やすなどの取組を通じて寄附の獲得に努めたい。

マイナンバーカード

議員 マイナンバーカードの交付状況は。
答弁 R6年2月29日時点での交付率は77.57%。

企業誘致推進

議員 新規地下水電気探査委託料
答弁 予算1213万円の根拠は。
答弁 一般的な工業団地の形成に必要な電気探査の経費を専門業者から見積りを取った。
議員 具体的な構想はあるのか。
答弁 今のところ無い。

関係人口拠点施設

議員 「coccomio」の指定管理期間の終了後について。
答弁 実績も出ているので、指定管理を継続していく考え。公の施設のため管理料も含めR6年度中に検討していく。

空き家対策

議員 空き家実態調査委託料
答弁 1673万円は。
答弁 市内の空き家を調査し、写真撮影の上、データベース化する。将来的にはGIS(地理情報システム)と連動させる。

予算委員会全審査内容は、豊後大野市議会のホームページ内、「議会中継」のページよりご覧いただけます。



第1回定例会ミニ解説

第1回定例会は、2月27日～3月21日に審議されました。

議会は通常年に4回開催され、3月議会は今年になって1回目の議会なので第1回定例会といえます。条例改正や補正予算の審議に加え、令和6年度予算審議等を行いました。議員発議を含め52議案について慎重に審議し、令和6年度一般会計予算については、予算特別委員会にて議員より修正案が提案されたものが可決され（予算委員会詳細は2～5P掲載）、閉会日には、全ての議案が可決されました。

議案 45件

- ・承認 一般会計補正予算(第9号)
- ・条例一部改正 18件
- ・条例制定 7件
- ・条例廃止 1件
- ・協議 1件
- ・補正予算(特別会計含む) 5件
- ・当初予算(特別会計含む) 9件
- ・委員の選任 2件
- ・諮問 1件

第4回定例会

議員発議 4件

- ・議会政務活動費の交付に関する条例の制定
- ・令和6年度一般会計予算修正案(修正動議)
- ・議会規則の一部改正
- ・議会委員会条例の一部改正

開会日に上程(議事日程に組み入れて本会議の議案として取り扱う)された議案は45件でした。

住民税非課税世帯等に対する支援給付金事業について専決された補正予算第9号は、開会日に承認し、早期事務執行されました。

3月8日に追加議案で、多機能型武道場建築主体工事と電気設備工事について工事請負契約の締結について、一般会計補正予算第11号(繰越明許費補正)が上程、当日審議され、閉会日を待たずに質疑・討論・表決されました。

閉会日に、これまでの議員定数・報酬等特別委員会の報告もありました。(詳細は22P掲載)

追加議案 3件

- ・工事請負契約の締結 2件
- ・一般会計補正予算(第11号) 繰越明許費補正



令和5年度一般会計補正予算(第10号)

3億510万3千円

追加

《一般会計予算総額》

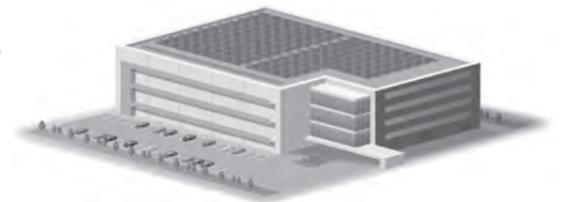
304億5,997万7千円

◆3月8日議決 第10号補正予算の一部を紹介

企業誘致促進及び創業支援基金が創設されました。

★土地開発基金条例を廃止し新たに設置

5億7千万円



地籍調査事業 県支出金の追加交付

★測量設計調査委託料増

調査区域(三重町向野・清川町宇田枝・千歳町石田・三重町奥畑大野町片島・朝地町池田)の一部

1億6千568万2千円



新手法で行われる地籍調査(机上立会)

詳しくは、農林整備課地籍調査係まで(☎0974-22-1096)

★議員及び市長の立候補に係る環境の改善を図る

豊後大野市議会議員及び豊後大野市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定

選挙運動用自動車の使用費、ビラ作成費、ポスター作成費を一定の金額を限度として公費とする。

※全国の9割の自治体が条例を制定済み

選挙運動費用の一部を「公費で負担する」



選挙ポスター印刷代 選挙カーのレンタル代 など

▶詳しくは、選挙管理委員会事務局まで(☎0974-22-1005) お金のあるなしで当選に差が出ないようにするため

★消防団員報酬の増額決定

豊後大野市消防団条例の一部改正

副分団長…38,000円⇒40,000円

班長…26,000円⇒37,000円

団員…22,000円⇒36,500円



訓練中の消防団の様子

★医療費無償を18歳まで拡大

豊後大野市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正

▶詳しくは、子育て支援課 子ども支援係まで(☎0974-22-1047)



★恵藤建設ドームに投球練習場を設置

豊後大野市体育施設条例の一部改正

利用料は、1時間:220円(市外660円)

▶詳しくは、社会教育課スポーツ推進係まで(☎0974-22-1154)



建設中の投球練習場

★第9期の介護保険料基準額は、据え置き年額75,000円(月額6,250円)

豊後大野市介護保険条例の一部改正

令和6年度から令和8年度まで所得に応じた保険料の段階が

9段階(第8期)が13段階(第9期)になります。

※ただし、所得に応じた保険料が変更する段階があります。

▶詳しくは、高齢者福祉課介護保険係まで(☎0974-22-1076)

国の制度改正に伴い

議案質疑の一部紹介

図書館条例の一部改正

丁寧にすすめよ。事務の執行

移動図書館の巡回について削除する条例改正だが状況は、

令和5年度から巡回事業はしていない。館外配送にて、各公民館に市図書館の本を借りられるようにしている。

移動図書館車について今後の活用は、どう考えているのか。

すでに昨年11月に公売により売却している。条例改正前に売却したことは、反省している。

農村環境改善センター条例の一部改正

千歳農村環境改善センターの廃止理由は？

利用頻度が減少し、赤字となっている。農業振興に限定しない、新たな活用をめざしている。

3月も白熱! 一般質問 という名の 政策提案

12名の議員が登壇

川野市政に、ズバツと質問ビシツと提言

3月4日、5日、6日に行われた一般質問には12人の議員が登壇し、市民病院、外国人観光客、新環境センター、宅地分譲、防災道の駅など36項目にわたり、執行部と活発な論戦を展開しました。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問と答弁を要約して掲載しております。また、議員の写真下に掲載しているQRコードをスマートフォンで読み取ることで、一般質問の録画中継がご覧いただけます。

●川野 辰徳 (10ページ)

- パンダ誘致・大分県飛行場について
- 市役所内部のパワハラ等について
- 農業問題について
- 市長の交際費について
- 市図書館について
- 市民病院について
- 関係人口交流拠点施設(cocomio)について
- 指定管理者について
- 各地域の役員手当について

●赤峰 映洋 (10ページ)

- 外国人観光客の対応について
- 豊後大野市の職員採用と職員研修について

●佐藤 昭生 (10ページ)

- 新環境センター整備事業に伴う事前準備について
- 消防指令業務の共同運用について
- 放課後児童クラブの現状と課題について

●工藤 秀典 (12ページ)

- 新たにライフラインの整った宅地分譲を考えられないか
- 振興協議会への交付金の増額は考えられないか

●衛藤 竜哉 (12ページ)

- 自然災害への対応は

●春野 慶司 (12ページ)

- 火葬場の残骨灰の売渡しにかかる一般競争入札の導入への道筋について
- 豊後大野市(指定者)の道の駅の指定管理者への関与について
- 「防災道の駅」への認可の推進について
- 家族の死亡に伴う各種届出のワンストップサービスについて

●原田 健蔵 (14ページ)

- 4月開催の福岡・大分デスティネーションキャンペーンについて
- JR三重町駅周辺整備について
- 能登半島地震を振り返って

●吉藤 里美 (14ページ)

- 災害対策について
- 市役所職員の定員管理等について

●高野 辰代 (14ページ)

- 大型観光企画「福岡・大分デスティネーションキャンペーン」の取組について
- 大規模災害時における支援連携等の状況について
- 在宅介護者や子育て世帯等への支援について

●佐藤 辰己 (16ページ)

- 国際交流について
- 市営住宅について
- 企業誘致について
- 市職員について

●川野 優治 (16ページ)

- 中学校の休日の部活動の地域移行について
- 耕作放棄地について

●後藤 雅克 (16ページ)

- 消防・災害・防災について

※ 一般質問＝議員個人が市の行財政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問。一般質問は各定例会で行われ、本市議会の場合、質問時間は答弁も含め1人60分以内の一問一答方式で行っています。

全会一致で可決した議案

区分	件名
承認案	令和5年度豊後大野市一般会計補正予算(第9号)の専決処分承認について
諮問案	人権擁護委員候補者の推薦について
議案	豊後大野市手数料条例の一部改正について
	豊後大野市公平委員会委員の選任について
	豊後大野市固定資産評価審査委員会委員の選任について
	豊後大野市企業誘致促進及び創業支援基金条例の制定について
	豊後大野市土地開発基金条例の廃止について
	令和5年度豊後大野市一般会計補正予算(第10号)
	令和5年度豊後大野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
	令和5年度豊後大野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
	令和5年度豊後大野市介護保険特別会計補正予算(第3号)
	令和5年度豊後大野市病院事業特別会計補正予算(第2号)
	令和5年度豊後大野市一般会計補正予算(第11号)
	豊後大野市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部改正について
	豊後大野市電気事業の設置等に関する条例の一部改正について
	豊後大野市精神障害者デイケア等交通費助成に関する条例の一部改正について
	豊後大野市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について
	豊後大野市児童館条例の一部改正について
	豊後大野市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について
豊後大野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	
豊後大野市介護保険条例の一部改正について	
豊後大野市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	
豊後大野市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	
豊後大野市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	

区分	件名
議案	豊後大野市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について
	豊後大野市農村環境改善センター条例の一部改正について
	豊後大野市道路占用料徴収条例の一部改正について
	豊後大野市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について
	豊後大野市水道事業給水条例及び豊後大野市簡易水道事業給水条例の一部改正について
	豊後大野市図書館条例の一部改正について
	豊後大野市体育施設条例の一部改正について
	豊後大野市議会議員及び豊後大野市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について
	豊後大野市消防手数料条例の一部改正について
	豊後大野市消防団条例の一部改正について
	豊後大野市職員定数条例の一部改正について
	豊後大野市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について
	他の普通地方公共団体の公の施設を豊後大野市の住民の利用に供させることに関する協議について
	令和6年度豊後大野市一般会計予算(修正案を除く原案)
	令和6年度豊後大野市国民健康保険特別会計予算
	令和6年度豊後大野市後期高齢者医療特別会計予算
	令和6年度豊後大野市介護保険特別会計予算
令和6年度豊後大野市浄化槽施設特別会計予算	
令和6年度豊後大野市電気事業特別会計予算	
令和6年度豊後大野市上水道特別会計予算	
令和6年度豊後大野市下水道特別会計予算	
令和6年度豊後大野市病院事業特別会計予算	
工事請負契約の締結について(多機能型武道場建築主体工事)	
工事請負契約の締結について(多機能型武道場電気設備工事)	

賛否が分かれた議案

議決結果一覧		※○＝賛成 ×＝反対 退＝退席 欠＝欠席 除＝除斥 田嶋栄一議員は議長職のため表決権はありません											
件名	議員名	会派名											
		新	れ	緑	政	政	創	創	創	創	創	創	創
		新	れ	緑	政	政	創	創	創	創	創	創	創
		見	見	見	見	見	見	見	見	見	見	見	見
発議	豊後大野市議会政務活動費の交付に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第33号議案 令和6年度豊後大野市一般会計予算の修正案について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊後大野市議会会議規則の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊後大野市議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※発議(はつぎ)＝地方自治法112条「普通地方公共団体の議員は、議会の議決すべき事件につき、議案を提出することができる」との規定に基づき議員が議案を議長に提出し、審議を求めること。



かわの たつり
質問者/川野 辰徳 議員
(無党派)



議員の一般質問の様子が
ご覧いただけます

問 市役所内部の
パワハラ等について

答 苦情相談窓口の相談員が迅速
かつ適切に対処する

問 市長の現状認識と考えを伺う。

総務課長

豊後大野市職員のハラスメントの防止に関する規定を定めている。

問 私のところに、市民や市職員の方からの提案や相談が電話、メール、投書などで寄せられている。全て私の元に寄せられた市民の方からの相談や職員からの情報提供に基づいて質問させていただきます。

近年、職員の中には、自殺で亡くなった方がいる。仕事との因果関係について、まだ分からない部分がありますが、上司の恒常的なパワハラに

より痛み、退職された方もいる。部署全体の問題として把握されているのか。

総務課長

業務的に非常にきつい部署、そして早く事務作業を進めなければならぬ部署等については、総務課に相談が上がってくるようになってくる。

問 市長、この現状をどこまでご存じか。また、どのようにお考えか。

総務課長

現時点において、議会に報告すべき案件はない。



▲市役所本庁舎



あかみね てるひろ
質問者/赤峰 映洋 議員
(創生会)



議員の一般質問の様子が
ご覧いただけます

問 外国人観光客の
誘致活動の取り組みは

答 観光PRとツアーの誘致を行った

問 本市においてどのような観光地が外国人に
来てもらえるかを調査研究しているのか。

市長

海外の旅行会社を対象とした現地視察ツアーや商談会などを実施し、本市の観光地の魅力創出や受け入れに係る課題などの意見をいただいている。

問 外国人観光客への働きかけは。

市長

外国人観光客の大半を占めるアジア圏からの旅行者は、依然、団体旅行が多いことから、複数のプランを作成し、多言語化した観光パンフレットと併せて、各旅行会社との商談会で活用していく。



▲アウトドアサウナを楽しんでいる
外国人観光客（ロッジきよかわ）

県内の市町村が職員採用に苦勞、
本市はどうか

問 本市の採用状況はここ数年、計画の人員を
満たしているのか。

総務課長

本市職員の毎年の採用状況については、退職予定者数を踏まえ、行政サービスの提供に必要な職員数を採用している。

問 多様化する市民ニーズに対応し、業務の効
率化を進めていくには各種の研修が必要ではな
いか。

総務課長

市の独自研修と併せ、大分県自治人材育成センター主催の研修を受講させている。キャリアに
応じた階層別研修や、専門的な知識の習得を目的とした行政実務研修など、技量の向上に資する研修に継続して取り組む。



さとう あきお
質問者/佐藤 昭生 議員
(れいめい会)



議員の一般質問の様子が
ご覧いただけます

問 新環境センター整備事業に伴う
事前準備について

答 移行しても大幅な変更はない

問 家庭ごみ・資源物の収集指定場所や曜日、ゴミ袋の変更の有無について。

環境衛生課長

一般家庭からのごみステーションへの出し方やごみ袋の変更はない。可燃ごみの収集ルートについては、効率的な変更等が想定されるので、見直しがあれば早めの周知を図る。

消防指令業務の共同運用について

問 共同指令センターの職員が県内の119番
通報を全て受けるようになると、現場の対応に
影響が出ないか。

消防長

おおいた消防指令センターでは最新のシステムを活用し、あらゆる情報を絞り込み、迅速に災害場所を特定することができる。

地理的に不案内な場合は、本市消防本部の通信補助員と情報共有できる3者通話機能により対応する。



▲おおいた消防指令センター(イメージ)

放課後児童クラブの現状と
課題について

問 市が運営しているクラブと委託運営してい
るクラブの違いについて。

子育て支援課長

活動内容等に大きな違いはないが、運営主体や実施場所の違いから、雇用形態や雇用人数、活動内容、保護者負担金も各クラブで異なっている。これまで無料となっていた直営クラブの保護者負担金は、来年度から徴収する。



くどう ひでのり
質問者/ 工藤 秀典 議員
(新政会)



議員の一般質問の様子が
ご覧いただけます

問

新たにライフラインの整った
宅地分譲を考えると

答

現在のところ新たに分譲開発を
行う計画はない

問 過去何人もの議員が定住や転入者のための宅地分譲を取り上げてきた。人口減少を食い止めるためにぜひ取り組んでほしい。

まちづくり推進課長

市内では合併前に旧町の一部で宅地分譲による定住促進事業に取り組んでいた。合併後は平成25年度から検討を始めた「オリジナル住宅構想事業」の中で旧大野高校跡地を分譲したものである。

問 平成25年の大野高校跡地の分譲以降に宅地分譲はあったか。

まちづくり推進課長

旧大野高校跡地の分譲を行って以来、本市が分譲地の開発を行った事案はない。

問 現在、市が考えている人口減少対策について具体的な案があれば伺いたい。

まちづくり推進課長

本市の移住・定住施策については、増加する空き家問題への対応を視野に入れ、空き家バンクを活用した住環境の整備について費用の一部を助成する制度を設け対応している。
市内には賃貸アパートや分譲宅地の販売を行っている事業者が多数あることから、民間事業者の力もいただきながら、住環境等の整備や移住・定住の促進に努めていきたい。



▲三重町久知良の民間開発分譲地(全31区画)
続々と竣工を迎え、新たな暮らしが始まる



えとう たつや
質問者/ 衛藤 竜哉 議員
(無党派)



議員の一般質問の様子が
ご覧いただけます

問

自然災害への対応は

答

災害への対応力の
さらなる強化に努める

問 1月1日に起きた能登半島地震。亡くなられた方にお悔やみを申し上げる。また震災後、避難生活が長期になり、お見舞い申し上げることも、早期の復興ができることを願っている。我が市はこうした災害にしっかりと対応できるのか。今回の能登半島地震はこれまで以上に地元の危機感を感じている。

いま一度再点検、再検証を行い、想定外の災害にも対応できる取り組みが必要ではないか。市はこれから先どのような対応をしようと考えているのか伺う。

総務企画統括理事

今回の能登半島地震を受け、本市では現在担

当者レベルで災害対応の再点検、再検証を行っており、これまでの運営方法では支障が生じることが懸念される業務について洗い出し、対策について協議を重ねている。
今後、国等において地震に関する検証が行われることから、さまざまな場面が想定される有事の際にも実効性のある訓練の実施に取り組みしていく。今後も県や県内自治体と連携しながら、災害への対応力のさらなる強化に努めていく。



▲県防災総合訓練の様子



はるの けいし
質問者/ 春野 慶司 議員
(れいめい会)



議員の一般質問の様子が
ご覧いただけます

問

「防災道の駅」への認可の
推進について

答

防災拠点としての道の駅の
機能強化を検討する

問 元日早々の能登半島地震で、国民の防災に対する関心は高まっている。全国には39カ所の防災道の駅があり、県内では湯布院のみとなっている。市内では「道の駅みえ」が駐車場の広さや、高台に位置していることなどから、要件に適合しているように思われる。

いざというときの市民の安心にもつながらる防災道の駅への認可を推進してはいかがか。

総務企画統括理事

令和8年度から国土交通省が取り組む道の駅の機能強化に係る第4ステージの内容と国・県の動向を注視するとともに、道路管理者や指定管理者と情報共有を図りながら、防災拠点とし

ての道の駅の機能強化について検討していく。



▲防災拠点として期待できる「道の駅みえ」

火葬場の残骨灰について

問 火葬場の残骨灰の売渡しかかる一般競争入札導入への道筋について、市民へのアンケートも実施済みで、あとは入札時期についての検討段階か。

環境衛生課長

アンケートの分析結果を踏まえた上で、県内他市の状況にも注視しながら、本市にとってより最適な方法を選択できるよう努めていく。



はらだ けんぞう 議員
質問者/原田 健蔵 (れいめい会)



議員の一般質問の様子が
ご覧いただけます

問

能登半島地震を振り返り
避難所設置上の問題点は

答

必要な備蓄品の整備に努める

問 仮設トイレ問題は。

総務企画統括理事

仮設トイレについては、発災時、水道復旧後に必要。その衛生管理については、避難所の皆さんと設置する「避難所運営委員会」で役割を協議。発災直後の断水時対策として排便袋を使用し、凝固剤で固めるケミカルトイレを備蓄している。

問 段ボールベッドの導入は。

総務企画統括理事

パーティション付き段ボールベッドを500セット、ワンタッチパーティションテントと敷パットを450セット備蓄し、高齢者や乳幼児等の要配慮者を優先とし、全指定避難所に配備している。



よしふじ さとみ 議員
質問者/吉藤 里美 (新政会)



議員の一般質問の様子が
ご覧いただけます

問

災害に備えた自助、
共助の取り組みは

答

防災講習会や防災訓練で
有事に備える

問 孤立集落対策について。

総務企画統括理事

実際に災害が発生した場合、重機等による早急な道路啓開、防災ヘリ等による救出救助、ドローンによる物資の搬送などが挙げられるが、孤立する可能性のある住民一人一人が平時から対策しておく「自助」、地区全体で対策しておく「共助」が大切であると考えている。
大規模災害時ほど、その直後は行政や警察、消防の手は届きにくくなる。「自助」、「共助」の重要性を市民の皆さまに理解していただく取り組みを引き続き行っていく。

問 本市における耐震化の状況は。

総務企画統括理事

住宅土地統計調査の数値を用いた推計では68・6%となっている。

問 耐震について対策を強化する予定はあるか。

総務企画統括理事

平成18年度から木造住宅耐震化促進事業による耐震診断や耐震改修の支援に取り組んでおり、市報やホームページ等で周知を図り、木造住宅の耐震化に努めている。

能登半島地震以降、耐震診断や改修に関する問い合わせが増えていることから、補助金の申請が予定数を超える場合は、国、県に対して追加の予算確保を要望していく。



たかの たつよ 議員
質問者/高野 辰代 (新政会)



議員の一般質問の様子が
ご覧いただけます

問

大型観光企画DCの取り組みは

答

イベントを企画し誘客を図る

問 9年前の評価を踏まえて今回、工夫したことは。

商工観光課長

里の旅公社や市内事業者と連携してプログラムの開発等を行ってきた。過性ではなく、次へつながるようなイベントにしたい。

問 地元商店街への波及効果の取り組みは。

商工観光課長

マルシェの開催を予定しており、三重町駅前のにぎわいの創出につなげたい。



▲マルシェの様子(イメージ)

※DC…4月～6月まで開催される福岡・大分デスティネーションキャンペーン



▲千歳支所にある本市所有の給水車

問 個別避難計画の作成は。
総務企画統括理事
災害時の避難行動要支援者の名簿を作成済。この計画書の作成同意者は65%の状況である。



▲防災講習会の様子

大規模災害時での支援連携の現状は

被災したときに迅速に支援し合える連携が不可欠だが、当市の現状は。

総務企画統括理事

災害時相互応援協定として23の協定を締結している。

問 本市は有事のとき支援してもらおう、または支援する自治体が決まっているのか。
総務企画統括理事

大規模災害発生時には、総務省や全国知事会が主管となり、支援に当たる都道府県を1対1で被災市町村に割り当てる。

在宅介護者や子育て世帯等への支援について

問 大分市は介護や子育て等で紙おむつを利用している方に、負担軽減措置として指定ごみ袋を支給している。本市でも実施できないか。
高齢者福祉課長

今のところ指定ごみ袋を交付する計画はないが、県内他市の動向を注視しながら、必要に応じて関係課と協議していきたい。



質問者/佐藤 辰己 議員 (創生会)



議員の一般質問の様子がご覧いただけます

問

企業誘致について

答

全庁的な体制で進める

問 人口減少の中、企業誘致は定住促進と地域活性化に関係してくるが、今後の方策は。

市長

企業誘致は本市で最も重要な取り組みの一つと考えている。基金を活用し、工場等建設費用の助成や地元雇用に対する助成等に充てていく方針である。県との連携をより一層深めながら、全庁的な体制で取り組みを進める。

問 今後の課題点は。

商工観光課長

企業誘致に適した土地や工業用水の確保が挙げられる。また、本市の思いを企業側へアピールすることも重要な課題と捉えている。

国際交流の今後は

問 ネパールにあるムシコット市との国際交流の今後は。

まちづくり推進課長

本市では人手不足、ネパールでは雇用不足の現状がある。今後は双方の地域課題解決に向けた取り組みを進めるため、友好都市協定の締結をめざしたい。



▲ムシコット市訪問の様子(令和5年11月)

問 サウナ発祥の地であるフィンランドとの交流は。

まちづくり推進課長

フィンランド大使館との交流事業を継続し、フィンランドとの交流が深まるよう努める。

市営住宅の現状は

問 人口減少による市営住宅の状況は。

建設課長

公営住宅は996戸あり、空き家は319戸ある。今後は建て替えや用途廃止も検討しながら、適切な維持管理に取り組む。



質問者/川野 優治 議員 (緑政会)



議員の一般質問の様子がご覧いただけます

問

中学校の休日の部活動の地域移行は

答

国や県の動向を注視しながら移行を推進する

問 部活動の地域移行の進捗状況は。

学校教育課長

朝地小中学校と総合型地域スポーツクラブである「朝地フレンドクラブ」を中心に移行の研究を進めている。これにより、朝地小中学校の軟式野球、バレーボール、卓球、剣道競技は朝地フレンドクラブのクラブ活動として行う機会が増えている。また、個人運営型として、大野、千歳及び犬飼中学校野球部が「豊後大野ネクサス」という地域クラブへ移行している。さらに、市内中学校のサッカー部がなくなるのを契機に発足した「FCスフィード」は、令和6年度からクラブチームとして中学校総合体育大会に参加できる見通しである。

耕作放棄地への対応は

問 増加する耕作放棄地にどう対応するのか。

産業建設統括理事

再生利用が可能と判断した農地については、農地中間管理機構の利用を勧めている。今後は地域の実情を踏まえ、農業上の利用が行われる農地と保全する農地を明確化する地域計画・目標地図の作成に取り組み、農業上の利用が行われる農地については担い手に集積し、保全する農地については景観作物、除草等により管理していく。



▲地域クラブ「豊後大野ネクサス」で練習する3校の野球部員



質問者/後藤 雅克 議員 (新政会)



議員の一般質問の様子がご覧いただけます

問

本市消防団の課題は

答

団員充足率は85・7%、団員確保が課題

問 市消防団の現状は。

消防長

条例定数1080人に対して団員数は926人、平均年齢は42・6歳、平均在職年数は15・7年。人口減少に伴い、若年層の入団者の減少や高齢化等により分団の維持が困難な状況となっている。

問 消防団員の処遇改善は。

消防長

出勤報酬は令和5年4月から、緊急出勤を1日当たり8千円に増額し、令和6年度から団員個人へ直接支給をする。

問 消防操法等の見直しは。

消防長

集合動作などの演技的な動作を見直し、過剰な訓練が制限されることとなり、本市においても、令和6年操法大会から見直した内容で実施する。これにより団員の負担軽減が期待されている。

問 機能別消防団員の復活は検討できないか。

消防長

消防庁長官から、消防団の充実強化についての通知が出され、「基本団員の確保が困難な場合、ある特定の活動や大災害時に限定して参加する消防団員の制度を導入していただきたい」との内容であった。平日の日中などは、出動できる団員が少なくなることから、消防団と十分協議をして今後検討していく。



▶市操法大会の様子



議会

ミニ知識コーナー

今回は、年間を通した議会のサイクルについてご紹介します。定例会は年に4回ありますが、定例会以外に「意見を聴く」「調査する」「検証する」「提言する」「研修する」「発信する」といった様々な活動を通じて、みなさんの声が市政や予算に反映されるように活動しています。

議会の サイクル

市民の
声は予算に
よく活動し
みなさまの
反映されて
います。

予算審議

第1回定例会
(3月議会)

2/1 議会日より発行

5/1 議会日より発行

第2回定例会
(6月議会)

※令和6年は9/1発行予定
8/1 議会日より発行

決算審査

第3回定例会
(9月議会)

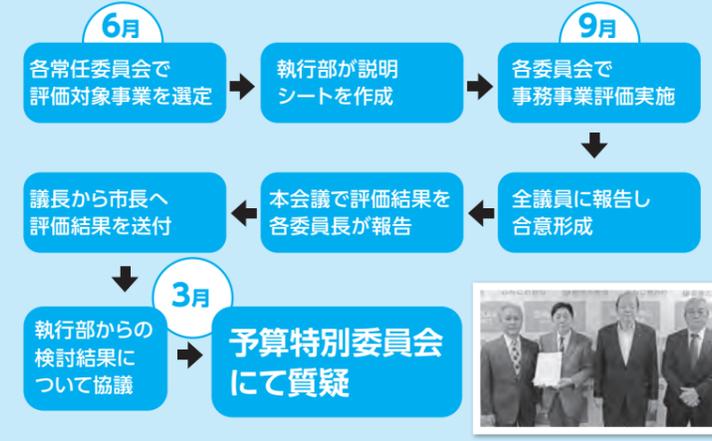
第4回定例会
(12月議会)

11/1 議会日より発行

議会版事務事業評価の実施

検証する

昨年度実施された市の事業を議会が評価し、その評価結果をもとに、今後の事務事業の方向性を提言し、次年度以降、市の事業計画に反映させることを目的に実施。



研修する

議員研修

大分県議長会主催の研修会に参加
庁内での研修会実施
・人権研修
・議会活性化委員会主催の研修



意見を聴く

市民と議会の意見交換会を開催

令和5年はテーマを「市政全般」とし、11月に市内4会場で、全議員が2班に分かれて2日間にて開催。
*意見交換会は、議会活性化委員会が、全ての市民意見・質疑の検討をし、各常任委員会に振り分け、各常任委員会が、調査したのち議長へ結果報告をし、議会だよりやHPで市民へ公開している。



各種団体との意見交換会も実施(要申し込み)

調査する

事業進捗状況調査

各常任委員会が、調査する事業を選定して担当課から説明を受け、疑問点等を質問し意見を伝える。令和5年度は11月に合計27事業について実施。

所管事務調査

議員の構成替えがあった年に、各課から事業の説明を受ける。令和5年度は、市民との意見交換会での疑問点について担当課に説明を求めた。

行政視察

常任委員会(分野ごとに3つの委員会に議長以外の議員が所属)は、毎年実施。
特別委員会(議会運営委員会、議会広報編集特別委員会、議会活性化委員会)は、2年に1回実施。
行政視察先は各委員会先進地等を調査し決定する。今年度は「人口減少対策」をテーマとして各常任委員会が調査するために参考となる自治体を視察実施。

提言する

各議員より一般質問にて提言

一般質問は、議員が市政運営全般にわたって、執行機関に疑問点を質問し、答弁を求めるとともに、政策のあり方についての意見を述べる事ができる。
*一般質問を「する」「しない」は、議員個人の判断
*一般質問の順番は、質問を期日までに提出した際、くじを引き決定となる。
*一般質問の時間は答弁を含めて1人60分
*一般質問は、通告した内容から、外れてはいけない。

事務事業評価での提言

今年度は「人口減少対策特別委員会」として9月議会において政策提言予定

急激に進行する少子高齢化等の人口減少対策に取り組むための政策提言をする目的に議長を除く全議員による「人口減少対策特別委員会」を立ち上げ、各常任委員会を分科会として取り組んでいる。

発信する

議会だより「声のかげはし」の発行

6人の広報編集特別委員により、各定例会開会前に、紙面構成、役割分担をし、閉会后、担当記事の作成、各議員から提出された一般質問原稿のチェック、紙面に使う写真撮影、紙面校正を2回実施し議会閉会後の翌々月の1日に広報を発行しています。



ケーブルテレビ生中継・動画配信サービス

2023市民と議会の意見交換会での意見に対する

執行部回答と
常任委員会調査結果 公表

執行部回答

市の自殺者対策
(職員向け)と
再発防止策について

意見・質疑

令和4年10月上旬に本庁の職員が自殺で亡くなったが、市の体制にかなり問題があるのではないかと。若い人たちが入庁して、本庁で働いている姿を見ると、非常に心配になる。原因の調査、再発防止策はどうなっているのか。

回答

令和4年10月6日付で教育委員会に内部調査委員会を設置し、当該事案についての調査を行いました。その結果、当該職員が担当していた業務内容や業務量及び職場の人間関係等が当該事案の原因ではないという結論に至ったところです。
市としましては、今後

も各所属長の指導の下、職場間の意思疎通を図りつつ風通しのよい職場づくりに努めてまいります。

グレーゾーン(障がい)への市の対応について

意見・質疑

発達障がいの方と健常者の間に位置し、障がい者手帳の交付は受けてはいないが、私生活に支障が出ている「グレーゾーン」と言われる人がいる。本市の「グレーゾーン」の方に対する就学支援、学習支援、就労支援について教えてほしい。

回答

就学支援としまして、小学校では、教育委員会の就学前施設訪問や小学校の園訪問による状況確認のほか、幼小連携の活動による見取りなどの対応を図ることにより、個々の情報を事前に把握した上で小学校での

教育に生かしてきます。

また、状況に応じた個別の支援計画を作成することで、職員と保護者の連携のもと教育を進めています。

中学校及び高校への進学時には、それぞれ学校間で個々の情報交換、情報共有を行いながら、進学先での教育に生かしてまいります。学習支援としては、個々の特性等に応じた個別の支援計画を作成し、その子に合った学習支援を行っています。

就労支援としては、一般企業等での就労が困難な方に対して働く場を提供する「就労継続支援サービス」と一般企業等への就労を希望する方に一定期間、就労に必要な知識や能力向上を図る訓練を実施する「就労移行支援サービス」を行っています。

今後、これらの事業を実施することで適正な就労支援を行っていきま

す。なお、就労支援に関する障がい福祉サービスの利用に関しては、障が

い者手帳の所持に関わらず利用することが可能です。

市道以外の道への
支障木対応について

意見・質疑

大野町宮迫支部では市道がなく、農道や里道といった生活道路しかない地域で、支障木が存在するため、救急車が入って行けなかったことがあり。畑等に隣接していれば、中山間などの制度を利用してできたが、それも利用できない。また、地域の高齢化により、大きな木を切る人手がない。こういった地域でも支障木を除去するための新たな事業はできないか。

回答

法定外公共物(里道・水路)の維持管理は地元協力のより管理が図られています。一方、法定外公共物に隣接する樹木については、地権者の

財産であることから伐採等については、地権者による管理が必要となります。

本市では現在、市道の支障木伐採事業に取り組んでいますが、法定外公共物は、市内に多数存在しており、影響範囲が多岐にわたることから、現時点での事業化は困難であると考えています。

※執行部からの回答等はホームページにも掲載しています。

豊後大野市ホームページ
豊後大野市議会
市民と議会の意見交換会



11月に開催した「2023市民と議会の意見交換会」の中でいただいた意見のうち、執行部の見解が必要なものは、書面での回答を求めています。

また、調査が必要なものは常任委員会で所管事務調査等を実施しました。

今回、その回答が提出されましたので、内容の一部を要約して紹介します。

また、常任委員会において調査が必要なものは、令和6年2月5日に厚生文教常任委員会所管事務調査を、同月6日に総務常任委員会所管事務調査を実施しました。

(執行部からの回答は、20ページ、常任委員会調査結果は、21ページです。)

提出された回答や取り組みの推移などは、議会として今後も注視していきます。

総務常任委員会

買い物弱者への対応

意見

本市には、タクシーも利用できない「買い物弱者」と呼ばれる人がたくさんいる。全国では、さまざまな取り組みが行われているが、豊後大野市ではどういった取り組みをされているのか。

調査結果

本市では、住民主体による移動手段に特化した取り組みはありませんが、支え合いの仕組みづくりとして、「清川町支え合いのまちづくり仕掛け人会」が、移動支援を含めた検討を行っている。

他市に先駆けて、家用有償運送による「ミニバス」の運行や、あいのりタクシーといった公共交通網の整備をしてきたが、年々利用者は減少している。今後も市

に対し、市民生活を支える公共交通再編の取り組みを求めていく。

ふるさと納税の取組

意見

本市ふるさと納税の寄附額は、県下18市町村の中で下から3番目。自主財源の確保のため、努力してほしい。

市長をトップに本市を応援してもらう取り組み。また、どのような方法でふるさと納税の周知を図っているのか。

調査結果

近年では大都市がふるさと納税に力入れ始め、他の自治体に寄附金

が流れたと考えられる。在京市人会など開催の際には市長からお願

なくとも減額される仕組みのため、市は独自の措置として、この減額分について支援している。

市独自の子育て支援や運営費の補填等の検討を行うべきではあるが、大分県市長会へ要望書を提出していることと、であったため、今後も児童クラブの運営事業者と十分な協議、検討を重ねていくこと、他市の状況を注視していくことが重要であると結論つけた。

く向上させる取り組みを求めていく。



▶ふるさと納税返礼品

厚生文教
常任委員会

一般廃棄物処理の許可

意見

処理業者に依頼すると費用が高額になるため、一般廃棄物処理の許可を出してほしい。

調査結果

現行での事業系一般廃棄物及び家庭系一般廃棄物の収集運搬の需要量は十分に確保されてお

放課後児童クラブの運営

意見

放課後児童クラブは運営が大変厳しい状況である。職員の配置等も含め、地域の実情に併せて本市独自の子育て支援が考えられないか。

調査結果

基準額は国が定める児童数より多くても少



▶千歳放課後児童クラブ

議員定数削減！来年4月の選挙から16人に。

議員定数・報酬等調査特別委員会

議

員定数・報酬等調査特別委員会は、3月13日9回目の委員会を開催し、議員定数は16人が妥当であると決しました。

本特別委員会は、平成17年3月の豊後大野市発足以降、3回にわたり議員定数の見直しをおこなってきたが、議会活性化委員会より

昨今の人口減少などを鑑み、特別委員会を設置し結論を出していくべきと答申したことに

より設置されました。議長を除く17名で構成し、令和5年5月15日から10か月間、調査研究及び委員間討議を重ねてきました。

まず、議員定数ですが各委員より、市民の声を議会に届けるためには地域性を考えるべきで現状維持という意見、急減に進行する人

員定数削減により定数減は避けられないという意見などが出されました。定数は16人という意見が多く、現状維持の18人、14人といった意見も挙げられました

が、協議の結果、「類似団体の定数、本市の人口減少の現況を考慮すると2人減の16人で決定しました。

議員報酬に関して「議員報酬シミュレーション」をもとに議論を行いました。各委員より、定数減による予算額を報酬の増額分にまわすべきという意見や、市民感覚からは議員報酬は高いという意見が挙げられました。協議を重ねました

が、意見の一致には至らなかったため、採決によって委員会の方向性を「増額する」と決しました。なお、報酬については、

豊後大野市報では、豊後大野市報酬等審議会へ諮問することとし、本委員会は、同審議会に対して提示する報酬額3案を以下のように決しました。

①定数減による予算の減額内で一般職員給与の最高額に近づける案
 (現行より4万円増)
 ②消費者物価指数を参考とする案
 (2万円増)
 ③九州管内決算規模類似団体(250~350億を参考とする案(1万円増))

次代の議員の成り手を確保するためにも、議員という職に市民が魅力を持てるような条件整備をしていくことも現職議員の責務であると考へます。

尚、報酬審議会の結論は、今後の「議会だより」にてお知らせします。

人権感覚を磨き続け
今からできることをする。

令

和6年2月29日に「社会を変えるのは私たちです」をテーマに、市役所人権部落差別解消推進課の園田孝吉氏を講師に人権研修が開催されました。2021年度の市民意識調査から、男女共同参画・部落差別問題・LGBTQなどを取り上げました。部落差別問題は、差別をする側の問題、差別を残している私たち社会の問題であり、無知・無関心が差別を助長するため、正しく知り行動することが大切とのことでした。

中学生の「差別するしようもない大人になるのではなく、差別のおかしさを伝える人になりたい。今、差別やいじめを受けている人を救いたい」という感想が心に響きました。



▲人権研修会

人口減少対策に
より一層取り組み。

豊

後大野市にとって、最大の課題である「人口減少」に歯止めをかけるために議会として何をすべきかという大きな問題に対し、このたび人口減少対策特別委員会を設けることを決定しました。

まず、令和6年2月27日に委員長、副委員長を選任し、令和6年3月8日に、第2回特別委員会を開催し、各常任委員会で調査項目を決定し、対応していくこととなりました。

4月中に本市の状況を把握し、その後、現状分析のうえ、他市の事例を調査し、先進地研修等を実施する計画となっています。

6月に各常任委員会ごとに中間報告を取りまとめ、8月までに最終報告を作成します。そして、9月議会中に政策提言として報告することになりました。短期間ですが、集中して取り組みます。

人口減少対策特別委員会

- 【委員長】 杵掛 義範
- 【副委員長】 穴見 真児
- 【構成】 議長を除く17名の議員

議会の立場で「よい自治体」をめざす。

一般質問研修会「質問力を高める議会にいかす」

令

和6年2月29日「質問力を高める議会にいかす」をテーマに、法政大学法学部教授土山希美枝氏を講師に議員研修が開催されました。

自治体の政策・制度が「よい状態」であるように信託された権限を使って「制御する、政策主体としての議会」についての説明が最初にありました。つまり、「よい自治体」は、政策・制度を整えている自治体であり、課題がたくさんあっても資源が限られているので政策効果を高める必要があります。

その後、

①議員にとって、議会にとっての一般質問の機能と課題
 ②一般質問はなぜ「機能していないか」
 ③機能する一般質問のために

他市の取組で、一般質問の通告書が提出されたから、議員全員で、その一般質問についての一般質問討論会(磨き上げ)をしたり、複数の議員が同じテーマについて異なる論点や視点で質問を行う「議員問連携」の例や一般質問

のあと、議員どうしで選ぶ「今議会のベスト一般質問賞」などの紹介もありました。

後半は、全議員が、付箋紙に、今日の講義の質問や、自分の一般質問で困っていることなどを書いてホワイトボードに貼り、講師が、仕分けして、それぞれの項目に、回答していただきました。

3時間におよぶ研修は、とても有意義であり、今後の、議員活動や政策提言にとても参考となる研修でした。



▶議員研修会
講師(土山希美枝)

議会日誌

3月

- 4日(月) ・本会議(一般質問)
- 5日(火) ・本会議(一般質問)
- 6日(水) ・本会議(一般質問)
- 6日(水) ・第6回議会運営委員会
- 13日(水) ・予算特別委員会(特別会計)
- 13日(水) ・第9回議員定数・報酬等調査特別委員会
- 14日(木) ・予算特別委員会(一般会計)
- 15日(金) ・予算特別委員会(一般会計)
- 21日(木) ・本会議(閉会)
- 21日(木) ・第8回議会運営委員会
- 25日(月) ・第11回議会活性化委員会

2月

- 5日(月) ・厚生文教常任委員会(所管事務調査)
- 6日(火) ・総務常任委員会(所管事務調査)
- 13日(火) ・議会全員協議会
- 13日(火) ・第8回議員定数・報酬等調査特別委員会
- 16日(金) ・総務常任委員会(所管事務調査)
- 20日(火) ・第4回議会運営委員会
- 21日(水) ・第1回定例会議案学習会
- 21日(水) ・第18回議会広報編集特別委員会
- 22日(木) ・第5回議会運営委員会
- 27日(火) ・第1回定例会開会
- 27日(火) ・第10回議会活性化委員会
- 29日(木) ・議員研修会・人権研修会

1月

- 5日(金) ・第15回議会広報編集特別委員会
- 第1回議会運営委員会
- 第7回議員定数・報酬等調査特別委員会
- 9日(火) ・第2回議会運営委員会
- 10日(水) ・第16回議会広報編集特別委員会
- 16日(火) ・第17回議会広報編集特別委員会
- 26日(金) ・第9回議会活性化委員会

児童・生徒の思いを紹介



あたたかい学校をつくるために

犬飼小学校には、「犬飼小の合い言葉」があります。それは「にこにこあいさつ」、「ぽかぽかことば」、「もくもくそうじ」の3つです。犬飼小のみんなが大切にしている合い言葉です。

「にこにこあいさつ」は、みんなが心のこもった気持ちのよいあいさつをしようということです。私は普段から「にこにこ」を意識して、先生方や友だちにあいさつをしています。

「ぽかぽかことば」は、自分から色々な人にうれしい言葉や優しい言葉をかけようということです。私は友だちが嫌がることはせず、優しい言葉をかけるよう心がけています。

「もくもくそうじ」は、静かにていねいにそうじをしようということです。私は時間いっぱい集中して取り組んでいます。

3つの合い言葉がもっと広がり、犬飼小学校にいる人全員がぽかぽかとあたたかい気持ちでいられる学校になることを願っています。



犬飼小中学校6年

おの あいら
小野 愛來

編集後記

各地から桜の開花・満開、春まつりや各種のイベント等の開催情報が伝えられています。
コロナ感染症も5類に引き下げられ、一年経過したこともあり、諸行事を盛大に開催し、その「活力・元気」をもって、能登半島地震被災地の復旧・復興を応援したいものです。

(小野)

後輩につなげる「一致協力」した学校づくり

私が通う犬飼中学校は、全校生徒数65名の学校で生徒会スローガン「一致協力」を掲げ、活動しています。犬飼中学校には、父が中学生のときからずっとある立派なツツジ畑があります。このツツジが毎年きれいに咲くように全校生徒でツル取り作業をしています。こうして私たちは、犬飼中学校の伝統的な花の手入れをしながら、後輩へと伝統をつないでいっています。



犬飼小中学校9年

たしま ていと
田嶋 逞斗

そんな犬飼中学校も4月から小中一貫教育校になります。一貫教育校になると行事を一緒に行うものも増えます。今まで以上に準備を入念に行い、小学生のお手本になるようにしていきたいです。昨年度から小中合同のあいさつ運動を始めており、あいさつも犬飼小中の新しい伝統にしていきたいと思っています。一貫教育校になっても、この朝のあいさつ運動を引き続き行い、地域の方とのつながりを大切にしていきたいです。これからも生徒全員で一致協力し、生徒会活動を充実させ、後輩につなげていきたいです。

※文章は3月に提供して頂いたものです。

議会を傍聴してみませんか？

次回6月定例会は、
6月20日に開会予定です。

広報編集特別委員会

委員長	高野 辰代
副委員長	工藤 秀典
委員	小野 順一
委員	後藤 雅克
委員	原田 健蔵
委員	川野 辰徳



見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。